

プレスリリース

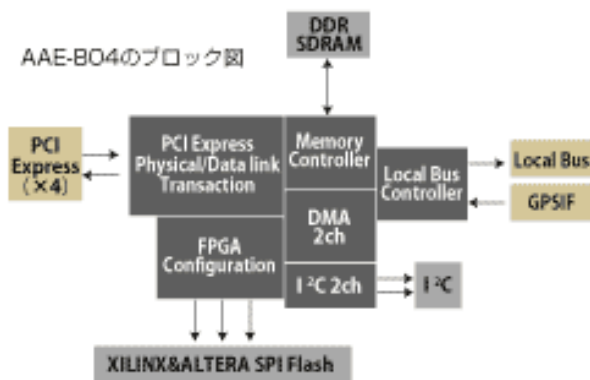
PCI Express バスのコア・デバイスを独自開発

株式会社アバールデータ（代表：嶋村 清、本社：東京都町田市旭町 1-25-10、URL：http://www.avaldata.co.jp、営業部/TEL：042-732-1030 FAX：042-732-1032、E-Mail: sales@avaldata.co.jp）は、自社で開発している産業用組込ボードを、より高いパフォーマンスを追求するために、PCI Express 対応への製品化を進めてる。2007 年以降、この PCI Express 対応製品の展開をさらに進めるために、独自の PCI Express 用 LSI「AAE-B04」を開発する。

「AAE-B04」は、4 レーン PCI Express の物理層、データリンク層、トランザクション層の処理回路を中心に、ローカルバス・コントローラ、メモリ・コントローラ、2 チャンネルの DMA(Direct Memory Access)コントローラ、FPGA のコンフィギュレーション・ポート、I2C シリアル・インターフェースなどを 1 チップに集積した LSI となる。（下記ブロック図参照）この LSI にフラッシュメモリや DDRSDRAM、FPGA などを接続すれば、大容量の画像処理システムや高速データ通信システムを容易に構成でき、高速シリアルインターフェース対応のシステムを効率よく設計できる。

「AAE-B04」は、2007 年 4 月から量産を始める予定で開発が進められている。来期以降販売する画像処理や通信ボードなどの自社製品に採用していく。アバールデータでは、従来より PCI モジュールとインターコネクに注目して独自のシリアル通信ボード GiGA CHANNEL を使用したシステム提案しているが、今回の LSI 開発もこのインターコネクの高速環境作り一環の開発となる。様々なデバイスを接続することで多機能化も図ることができる。「AAE-B04」には、当社独自の付加価値を備えた製品開発を加速させる意味合いもある。

■AAE-B04 のブロック図



■パッケージイメージ

672pin EPBGA

